

平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年2月3日

上場会社名：東レ株式会社 上場取引所：東大名福札
 コード番号：3402
 (URL <http://www.toray.co.jp>)
 代表者：役職名 代表取締役社長 氏名 榊原 定征
 問合せ先責任者：役職名 広報室長 氏名 濱口 裕 TEL (03) 3245-5175

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高等の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無：有 一部簡便的な方法を採用しております。

2. 平成16年3月期第3四半期連結業績の概況(平成15年10月1日～平成15年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益
	(%)	(%)	(%)
16年3月期第3四半期	256,974 (+6.6)	11,442 (+128.2)	10,738 (+243.3)
15年3月期第3四半期	241,096	5,015	3,128

(注) パーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

当第3四半期の国内経済は、個人消費は依然として低迷し円高が進行しましたが、設備投資や輸出の増加を支えに景気の底打ち感が出てきました。海外も東南アジア・中国を中心に総じて堅調な経済環境にありました。その中で、当社は一昨年4月にスタートした経営改革プログラム“プロジェクト New TORAY21”により、引き続き徹底した体質強化と事業構造改革に取り組むとともに、先端材料の拡大、“New Value Creator”(新素材・新商品の開発、新商流の開拓)の推進及び海外事業の収益拡大などを積極的に進めております。その結果、当第3四半期は上期に引き続き、売上、利益とも計画を上回る成果を上げ、前年同期比でも増収・増益を達成しました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
 該当事項なし

3. 平成16年3月期9ヶ月累計連結業績の概況(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益
	(%)	(%)	(%)
16年3月期9ヶ月累計	791,320 (+7.0)	36,175 (+104.8)	33,710 (+206.3)
15年3月期9ヶ月累計	739,628	17,666	11,004

(注) パーセント表示は、対前年同期比増減率を示しております。

4. 平成16年3月期通期の業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回業績見通し(A) (平成15年11月7日発表)	1,080,000	54,000	50,000	19,000
今回業績見通し(B)	1,080,000	56,000	51,000	20,000
増減額(B-A)	-	+2,000	+1,000	+1,000
増減率	(-)	(+3.7%)	(+2.0%)	(+5.3%)
前期実績(C) (平成15年3月期)	1,032,991	33,043	23,746	5,790
増減額(B-C)	+47,009	+22,957	+27,254	+14,210
増減率	(+4.6%)	(+69.5%)	(+114.8%)	(+245.4%)

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 14円27銭

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回業績見通し(A) (平成15年11月7日発表)	450,000	22,000	28,000	15,000
今回業績見通し(B)	450,000	24,000	30,000	16,000
増減額(B-A)	-	+2,000	+2,000	+1,000
増減率	(-)	(+9.1%)	(+7.1%)	(+6.7%)
前期実績(C) (平成15年3月通期)	442,586	9,674	10,396	3,121
増減額(B-C)	+7,414	+14,326	+19,604	+12,879
増減率	(+1.7%)	(+148.1%)	(+188.6%)	(+412.7%)

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 11円42銭

“プロジェクト New TORAY21”による事業収益拡大が計画を上回る成果を上げつつあることをうけて、連結、単独とも中間期の業績予想を上方修正しました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。